令和６年第１１回公安委員会会議録

日　時	４月２５日（木曜日）　自午後　１時３０分　至午後　５時００分	場　所	公安委員会室
会　議 出席者	公安委員	宮尾委員長　吉田委員　小野委員　廣塚委員　甲斐委員	
	警察職員	本部長　警務部長　生活安全部長　刑事部長 交通部長　警備部長　情報通信部長	

第１　聴聞等についての決裁

聴聞１３件、意見の聴取３６件についての決裁（運転免許課）

第２　定例会議

１　令和５年度会計監査の実施結果について

警察本部から、令和５年度会計監査の実施結果について、手数料の誤徴収、支払遅延､備品の誤廃棄等の改善を要する指導事項があったことなどの報告が行われた。

公安委員から「今後、同じ指導を受けないようにすることが大事である。」旨の発言があり、警察本部から「改善を要する指導事項の周知を図り、基本厳守の徹底に努めていく。」旨の説明があった。

２　令和６年春の全国交通安全運動の実施結果について

警察本部から、令和６年春の全国交通安全運動の実施結果について報告が行われた。

公安委員から「最近、高校生のヘルメット着用が増えてきており、良い傾向である。」旨の発言があり、警察本部から「自転車で通学する県立学校の生徒については、来春からヘルメット着用の許可条件化に向けた動きがあるが、この機会を捉えて、私立学校等への拡大を図っていくこととしたい。」旨の説明があった。

３　外国語（英語）による第二種運転免許学科試験の導入について

警察本部から、今後、自動車運送業において外国人労働者の雇用増加が見込まれることから、新たに第二種運転免許を対象とした外国語（英語）による学科試験を導入することについて報告が行われた。

公安委員から「十分な日本語を話せない外国人が事故や違反を起こしたときの現場対応については体制がとれているのか。また、今後、外国人の増加に伴う交通上の事故やトラブルも増えてくる可能性があると思うので、警察における教育啓発活動だけではなく、民間との協力や連携についても模索していく必要があるのではないか。」旨の発言があり、警察本部から「現場においては、様々な外国語に対応できるよう翻訳アプリなどを活用しており対応可能である。また、技能実習生として来日している外国人への交通ルール等の教養は警察署単位で行っているが、今後も引き続き、民間や自治体等との連携を図っていく。」旨の説明があった。

第３　報告・決裁等

１　援助の要求についての決裁(警備第二課、地域課)
２　行政処分関係（聴聞実施）についての決裁（交通企画課）
３　苦情（Ｒ６．№３）の調査結果についての決裁（捜査第一課）
４　苦情（Ｒ６．№１１）の調査結果についての決裁（交通指導課、交通規制課）
５　放置違反金の不納欠損処分実施についての報告(交通指導課)
６　ストーカー規制法に基づく禁止命令等の実施状況についての報告（人身安全対策課）
７　監察事案についての報告（監察課）
８　審査請求（Ｒ６．№２）受理についての報告（公安委員会事務室）
９　審査請求（Ｒ６．№１）に係る弁明書についての報告（公安委員会事務室）
10　苦情（Ｒ６．№９、№１０、№１１）受理についての報告（公安委員会事務室）
11　令和６年第６回～第１０回公安委員会会議録についての決裁(公安委員会事務室)